

YA !

YA !

YA

べんりやん図書館

2025年12月号

香川県立高松南高等学校図書館

高松南高校のみなさん！

『ゴースト』 ジェイソン・レノルズ作 ないとうふみこ訳 小峰書店

この本は、過去に父親に銃を向けられたトラウマを抱える中学生の少年が陸上競技との出会いをきっかけに自分自身と向き合い成長していく物語です。はたして、彼は走ることを過去のつらい出来事から逃げるための手段と考えていたことから、トラウマや弱さを乗り越えて真のスタートを切ることができるのでしょうか？彼の心の葛藤と成長の物語をぜひ読んでみてください。また、タイトルの「ゴースト」の深い意味も見つけてください。特に陸上に興味を持っている人におすすめです。

図書委員 3年8組 山下 海都



『ゴースト』
ジェイソン・レノルズ作
ないとうふみこ訳 小峰書店

『天久鷹央の推理カルテ』
知念実希人著 新潮文庫



あめくたかお 『天久鷹央の推理カルテ』

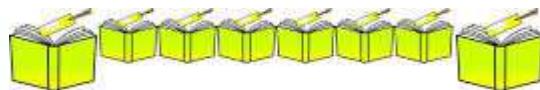
知念実希人作 新潮文庫

紹介する本は、アニメ化やドラマ化にもなり既に知っている人も多い『天久鷹央の推理カルテ』です。舞台は、天医会総合病院に設立された統括診断部。この科は各科で「診断困難」と判断された患者が集まる特別な科。そこに集まった患者たちの中に隠れている摩訶不思議な事件や思いもよらない病を、頭脳明晰、博覧強記の天才女医である天久鷹央が解き明かしていくミステリー小説です。作者は実際医師として働かれているので、病気の特徴や症状が詳しく描かれておりとても分かりやすいです。

この作品はシリーズで南高図書館には6冊あります。短編や、長編といろんな事件があるので、本を読むのが苦手な人も好きな人も好みのストーリーからチャレンジしてみてください。

図書委員 1年5組 荒 穂乃花

ご存知ですか？



民族共生象徴空間 ウポポイ展開催中



10月下旬から、図書館内展示スペースには南高生が訪れる北海道ウポポイ（民族共生象徴空間）に関連するたくさんの図書を展示しています。



なぜウポポイ展なのですか？

→ それは、普段身近に感じることのできないアイヌの文化を、修学旅行で訪れるチャンスの北海道で学べるからです。



どんな本が展示されていますか？

- アイヌのむかしばなし絵本『ひまなこなべ』（萱野茂著・あすなろ出版）
- 31巻揃ったコミック『ゴールデンカムイ』（野田サトル著・集英社）
- 承文芸を後世に残した19歳の少女、知里幸恵の人生を描いた評伝小説『ユーカラおとめ』（泉ゆたか著・講談社）
- アイヌの文化、例えば人類学、言語学、承文芸学などを凝縮した本『最新アイヌ学がわかる』（佐々木史郎監修・A&F出版）
- 今、最も知りたいこと『クマにあったらどうするか』（姉崎等語り・ちくま文庫）などなど他にも30冊余り展示しています。



その本は借りられますか？



一人5冊まで2週間借りることができます。

→ もうすぐ修学旅行に出かける2年生はもちろん、昨年実際に観てきた3年生、来年訪れる1年生、たくさんいろんな本がある今がチャンス！ 北の地、北海道のアイヌの文化を予習復習で学んでください。

アイヌ語



豆知識

「カムイ」とはどういう意味でしょう？

「神」という意味ですが、日本語の「神様」という言葉よりずっと広い意味で、魂を持つ生き物例えば熊・犬・猫・バッタ、草や木、火や水、雷などの自然現象もみんなカムイとしてとらえられています。周りのものに尊敬の気持ちを持ってカムイと呼んでいます。



『アイヌと神々の謡と子守歌』（萱野茂・山と渓谷社出版）より